



四国中央市の 国保財政が危機的状況です！

問 国保医療課 国民健康保険係 28-6020

国民健康保険（国保）は、病気やけがをしたときに安心して医療を受けられるよう、被保険者の皆さまが保険料を出し合っ、互いに助け合う制度ですが、保険料だけでは必要な医療費を賄えないため、国・県・市からの公費と被用者保険からの拠出金などで不足分を補いながら、都道府県と市町村が協力して運営しています。

さらに近年では、高齢化や医療の高度化などに伴い、医療費が高額化し、厳しい財政運営を続けています。このことは、本市も例外ではなく、令和2年度の決算見込みは、単年度収支で約7,000万円の赤字となっています。

本来であれば、令和3年度の保険料は、一人あたり約2万円ほどの引き上げが必要な状況ですが、コロナ禍の影響を受けている被保険者の皆さまへの配慮として、財政調整基金などを活用し、**保険料率は据え置く**こととしました。

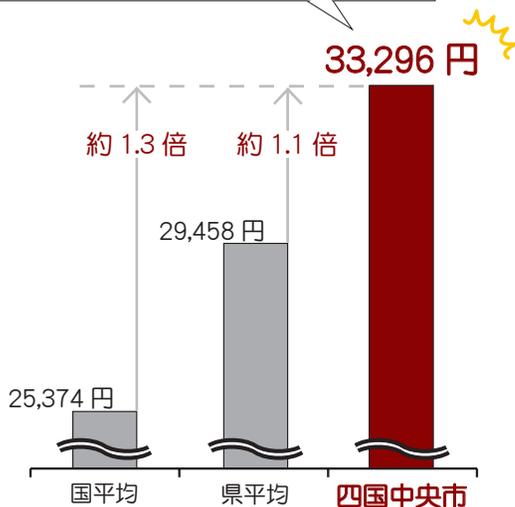
新型コロナウイルス感染症の影響
被保険者の高齢化
医療の高度化 など

保険料収入の減少
給付費の増大

単年度収支の悪化

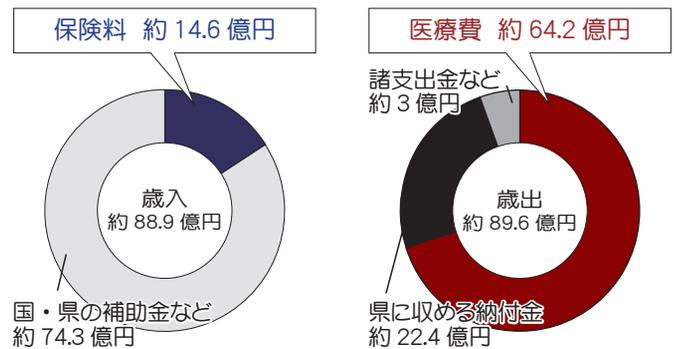
令和2年度の一人あたり医療費の比較（ひと月）

本市の医療費は国・県平均と比較して高く、県下（市部）で最も高い数値となっています



【令和2年度国保データベースシステムからの数値】

令和2年度国民健康保険特別会計決算（見込）の概要



単年度収支 ▲ 0.7 億円

※前年度繰越金除く
※端数調整しています

増加する医療費は、国民健康保険料の収入などだけでは賄えていないのが現状です



医療費抑制のための本市の取り組み

本市では次のような取り組みを行い、医療費及び保険料負担の抑制に努めています。

- 特定健診・保健指導の受診勧奨、生活習慣病重症化予防
- 第2期データヘルス計画
（データ分析による健康課題・保健指導対象者の明確化、効率的・効果的な保健指導の実施など）
- ジェネリック医薬品の利用促進
（7月に郵送した国民健康保険料納入通知書に希望シールを同封しています）

特定健診の受診など、ご自身の健康管理と病気の早期発見・早期治療を心がけてください。医療費を抑制し、保険料負担を少しでも軽減させるため、ぜひ、被保険者の皆さまのご協力をお願いします。